



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 内海造船株式会社

コード番号 7018 URL <http://www.naikaizosen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川路 道博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 兼 経理部長 (氏名) 原 耕作 TEL 0845-27-2111

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	21,665	13.8	133	32.8	147	59.1	147	48.4
27年3月期第3四半期	19,044	29.7	100	—	92	—	99	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 156百万円 (△59.2%) 27年3月期第3四半期 383百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	8.71	—
27年3月期第3四半期	5.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	33,675	7,263	21.6
27年3月期	30,164	7,140	23.7

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 7,263百万円 27年3月期 7,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	2.00	2.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	29,500	14.2	250	84.9	200	68.3	200	50.3
								11.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	22,530,000 株	27年3月期	22,530,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	5,573,411 株	27年3月期	5,573,339 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	16,956,621 株	27年3月期3Q	16,957,801 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予測などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府、日銀の経済・金融政策の効果により、幅広い業種で企業収益や設備投資、雇用・所得環境の改善が続いており、穏やかな持ち直しの動きが見られたものの、個人消費には依然として直結せず、力強さを欠く状況で推移しました。一方、世界経済においては、米国が景気回復を続けている反面、国際情勢不安に起因した世界経済の下振れや中国経済の急激な減速からの各資源価格の大幅な下落が資源国を直撃するなど、新たなリスク要因により、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、新造船工事において、前年同四半期と比べ売上対象船が2隻減少（14隻→12隻）しましたが、船種の違い等により1隻当たりの売上が増加し、売上高は216億65百万円（前年同四半期比13.8%増）、営業利益は1億33百万円（前年同四半期比32.8%増）、経常利益は1億47百万円（前年同四半期比59.1%増）、四半期純利益は1億47百万円（前年同四半期比48.4%増）となり前年同四半期と比べ増収増益となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	船舶事業				
売上高	21,235	682	21,918	△252	21,665
セグメント利益 又は損失(△)	788	△1	786	△653	133

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

①船舶事業

新造船工事につきましては、新しい規制導入を回避する目的で、受注環境は一時的・部分的に好転しましたが、世界的な船腹過剰は改善されておらず、新造船発注の動きが停滞していることから、船価の回復には至りませんでした。

改修船工事につきましても、海運市況の低迷から工事費用が抑制され、国内外の造船所との熾烈な競争を強いられ、受注・採算面とも厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当社は引き続き2工場（瀬戸田工場、因島工場）体制の強みを活かした効率的な生産活動と徹底したコストダウンに努め、環境面に配慮した省エネ船（エコシップ）の開発にも注力してきました。さらに、長年培った技術力・設計力を活かし、顧客・市場のニーズにあった自動車運搬船、RORO船やフェリーなど多種多様な船種船型に取り組み、積極的に開発、営業活動を推進してきました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の船舶事業全体の業績につきましては、売上高212億35百万円（前年同四半期比13.9%増）、セグメント利益7億88百万円（前年同四半期比12.4%増）となりました。受注につきましては、貨物船、フェリー、自動車運搬船、修繕船等を受注し、受注残高は、531億98百万円（前年同四半期比2.6%増）となりました。

②その他

陸上・サービス事業につきましては、公共・民間設備投資は、緩やかに持ち直しているものの、地域経済への景気波及の遅れなどにより、依然として低水準で推移し厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高6億82百万円（前年同四半期比2.7%増）、セグメント損失1百万円（前年同四半期はセグメント利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明
(連結財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)	増減
総資産	30,164	33,675	3,511
負債	23,023	26,412	3,389
純資産	7,140	7,263	122

総資産は、前連結会計年度末の301億64百万円から35億11百万円増加し、336億75百万円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末の230億23百万円から33億89百万円増加し、264億12百万円となりました。これは主に、前受金と長期借入金の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末の71億40百万円から1億22百万円増加し、72億63百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月11日に公表いたしました業績予想の数値からは変更ありません。

なお、今後の業績に変動を与える事象が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,956	6,168
受取手形及び売掛金	11,275	13,430
商品	2	1
仕掛品	218	384
原材料及び貯蔵品	106	182
その他	1,294	1,410
貸倒引当金	△8	△6
流動資産合計	17,845	21,571
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,310	2,209
構築物(純額)	1,113	1,058
機械装置及び運搬具(純額)	1,330	1,190
土地	4,601	4,601
その他(純額)	390	543
有形固定資産合計	9,746	9,604
無形固定資産		
その他	64	45
無形固定資産合計	64	45
投資その他の資産		
投資有価証券	2,365	2,310
退職給付に係る資産	111	97
その他	116	162
貸倒引当金	△85	△116
投資その他の資産合計	2,507	2,453
固定資産合計	12,318	12,104
資産合計	30,164	33,675

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,310	6,920
短期借入金	3,436	3,648
未払費用	884	1,148
未払法人税等	17	13
前受金	3,700	5,876
工事損失引当金	786	442
船舶保証工事引当金	429	273
その他	173	242
流動負債合計	15,737	18,566
固定負債		
長期借入金	4,322	5,050
再評価に係る繰延税金負債	844	844
退職給付に係る負債	1,561	1,462
資産除去債務	66	66
その他	490	422
固定負債合計	7,285	7,845
負債合計	23,023	26,412
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,200	1,200
資本剰余金	672	672
利益剰余金	5,322	5,436
自己株式	△2,016	△2,016
株主資本合計	5,178	5,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	456	445
土地再評価差額金	1,543	1,543
退職給付に係る調整累計額	△37	△18
その他の包括利益累計額合計	1,962	1,970
純資産合計	7,140	7,263
負債純資産合計	30,164	33,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年 4月 1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年 4月 1日 至 平成27年12月31日)
売上高	19,044	21,665
売上原価	18,144	20,680
売上総利益	899	985
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	192	180
その他	607	672
販売費及び一般管理費合計	799	852
営業利益	100	133
営業外収益		
受取配当金	11	12
為替差益	92	123
受取地代家賃	12	14
その他	6	4
営業外収益合計	122	153
営業外費用		
支払利息	82	82
支払保証料	32	8
貸倒引当金繰入額	—	30
その他	15	17
営業外費用合計	130	138
経常利益	92	147
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	1	7
特別損失合計	1	7
税金等調整前四半期純利益	92	139
法人税、住民税及び事業税	11	5
法人税等調整額	△19	△13
法人税等合計	△7	△7
四半期純利益	99	147
親会社株主に帰属する四半期純利益	99	147

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年 4月 1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年 4月 1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	99	147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	184	△10
退職給付に係る調整額	101	19
繰延ヘッジ損益	△1	—
その他の包括利益合計	284	8
四半期包括利益	383	156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	383	156
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。